メガフロートの津波等リスク低減対策工事の実施について

2018年11月29日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved. 無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

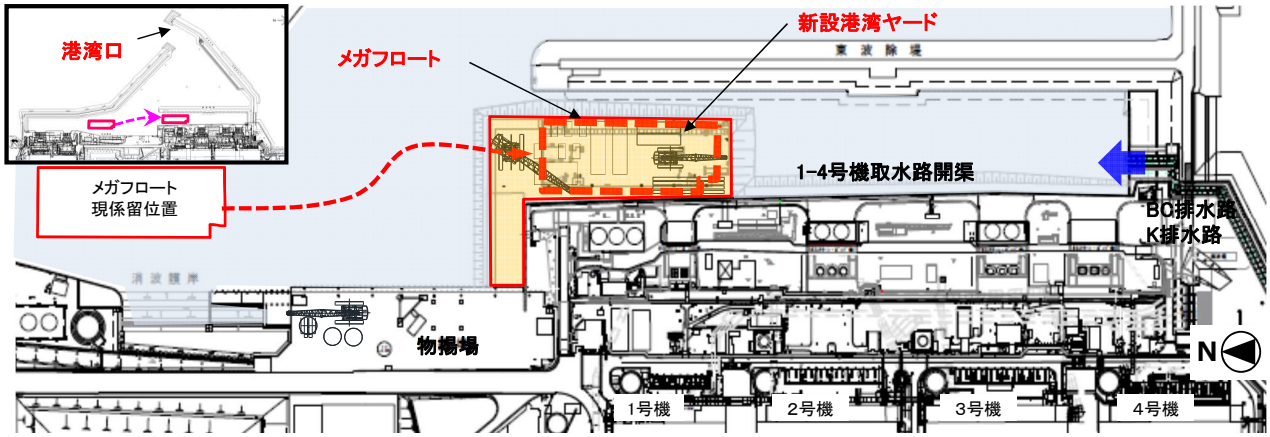
概　要

TEPCO

- 震災により発生した5・6号機建屋の滞留水を一時貯留するため活用したメガフロートは、現在、バラスト水（※）として、ろ過水を貯留し港湾内に係留している状況。

※バラスト水…船体動揺抑制のために貯留した水

- 港湾内に係留する状況が継続した場合、メガフロートが津波漂流物となり周辺設備を損傷させるリスクがあることから、リスクを早期に低減させ、かつ他作業との干渉を考慮し、護岸および物揚場として有効活用していく。
- 本工事は、海域での工事となることから、工事期間中は環境対策に万全を期するとともに、港湾内の環境モニタリングを継続していく。
- 本工事は2018年11月12日より海上工事に着手しており、2021年度内の完了を目標としているが、メガフロートが安定（メガフロートが着底マウンドに着底、内部にモルタル充填）し、津波リスクが低減するのは2020年度上期頃を計画している。
- １日も早くリスクを低減できるよう、安全第一に作業を進めていく。

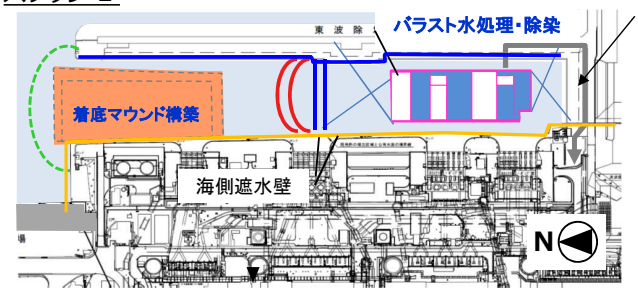


©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved. 無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

工事概要

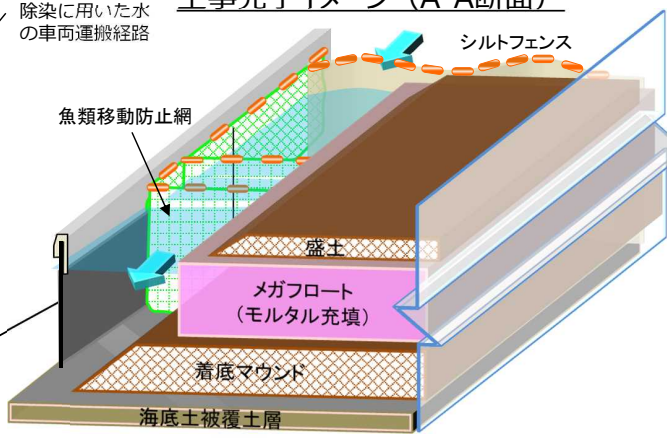
TEPCO

ステップ１



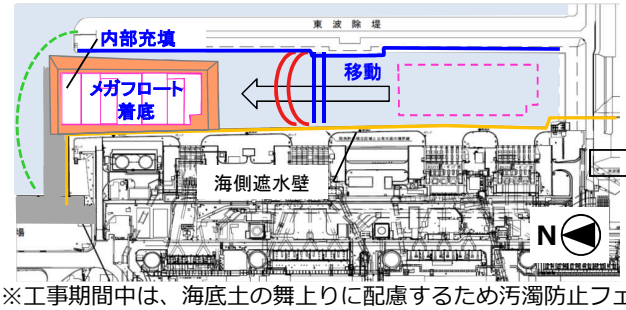
バラスト水及び除染に用いた水の車両運搬経路

工事完了イメージ（A-A断面）



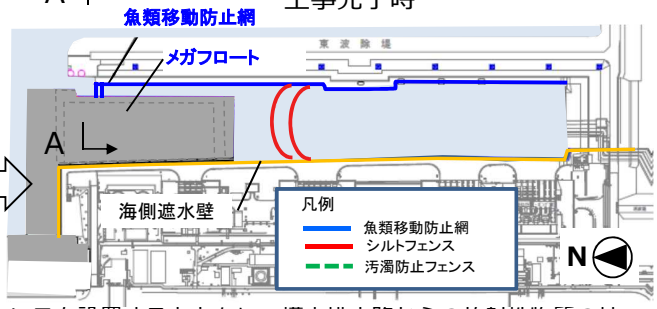
ステップ２

メガフロート着底時



A

工事完了時



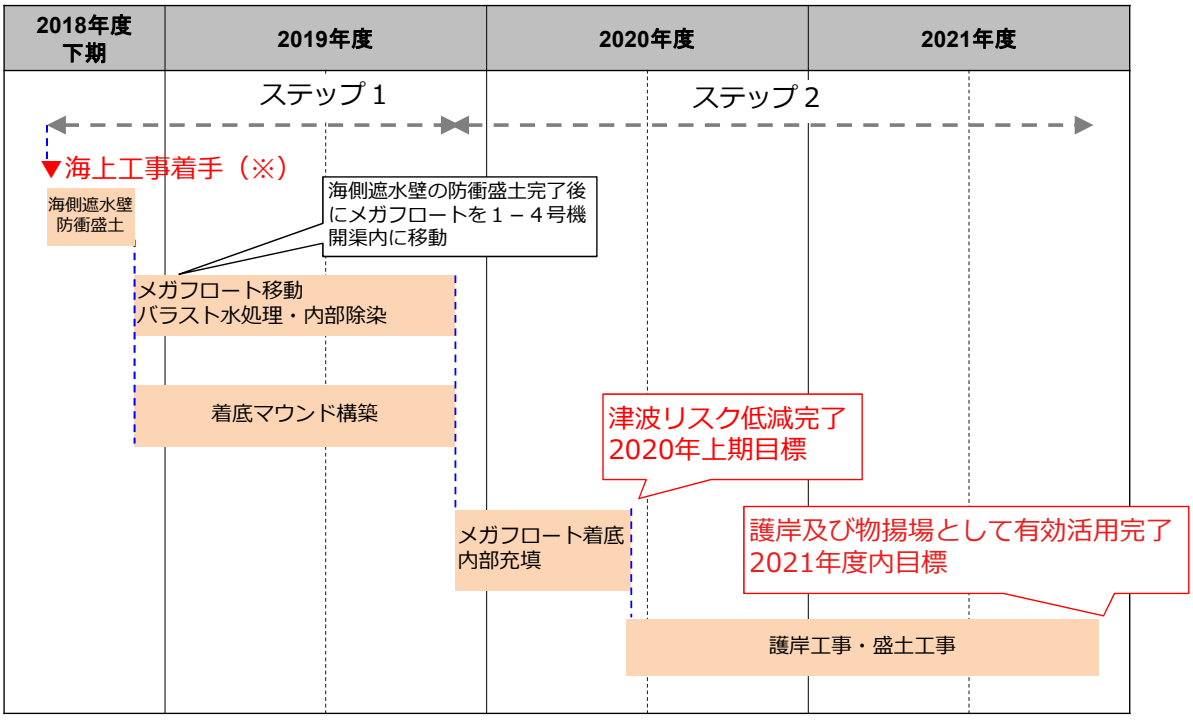
※工事期間中は、海底土の舞上りに配慮するため汚濁防止フェンスを設置するとともに、構内排水路からの放射性物質の拡散防止のためシルトフェンスは引き続き設置する。

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved. 無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

工事工程

TEPCO

➢ 2020年度上期を目途に津波リスク低減完了を目標として対策工事を実施していく。



※ 公共用財産使用許可変更申請（2018.8.29申請 2018.9.19許可）
公有水面埋立申請（2018.7.18申請 2018.11.1認可 海上工事着手2018.11.12）
水域施設改良届出（2018.8.10届出済）

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved. 無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

工事状況

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved. 無断複製 転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社